

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立岐阜盲学校 事業実施報告書⑤

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名

【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 II 】
2 実施対象者	岐阜県立岐阜岐阜盲学校 普通科生徒 12名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他(岐阜幼稚園との交流) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・生徒が主体的に活動をし、園児に喜んでもらうための創意工夫をすることで地域に貢献することができる。
5 取組内容	○事前の取組 ・生徒が物語を創作した、「ホッキョクグマのミチアツ」を係分担（パネル操作、音響、セリフ）し、練習を繰り返して園児の前で披露した。 ○パネルシアター「ホッキョクグマのミチアツ」 ・園児たちに楽しんでほしいという気持ちから、園児の前では、笑顔で話そうと生徒同士で声を掛け合う姿がみられた。  ○さわってさわってポン ・どんな支援が必要かなどを事前に話し合い、進行役、支援役に分かれて園児が楽しく活動できるように考えることができた。 ・アイマスクをした状態で、5種類のボールの中から最初に触ったボールを見つけるゲーム。見えない状態の時に、どんな支援が必要かなどを説明していく中で、視覚障がい者の理解啓発を行った。

	
6 主な成果	生徒の感想 ・園児たちが喜んでくれたことがうれしかった。 ・年長の園児たちが、小学生になった時にもし周りに見えにくい友達がいたら今日のことを思い出して親切に接することができたらうれしい。 ・園児たちが親しみのもてるように話し方を考えることができた。等の感想を聞くことができた。障がいの特性上、支援を受ける機会が多いが、自分たちが主体的に活動し、園児が喜んでくれたことで自信に繋げることができた。
7実践において工夫した点 (事業の 特色)	・計画から実施までを生徒が主体的に取り組むことができるようにリーダーの生徒とは綿密に計画をし、見通しがもてるようにした。また、余裕をもって活動できるように、1学期から取り組むことにした。
8主な課題等	・今後も継続していきたい。
9来年度以降 の実施予定	・今年度は、地域の方と触れ合い、地域に貢献したいという気持ちから活動を考えることができた。今後も、生徒の発想を大切にしながら活動を計画していきたい。